

寺院：福島県第4教区第111番普光寺

住所：福島県伊達市霊山町石田字下屋敷62

<p>寺院の被害</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震により本堂、庫裡、宝蔵、鐘楼門、衆寮がそれぞれ一部損壊した。</li> <li>・境内の土木構造物にも被害が生じている。</li> </ul>
<p>寺院の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射能汚染のため、副住職家族の早期の帰山がかなわなくなった。寺院所在地の放射線量は高低さまざまであり、常に不安を抱えて暮らしている。</li> <li>・檀信徒の離散や農業後継者を含む就業の問題、少子化等、寺院運営上、先の見通しが立たない現状があり、これを以って果たして後継者に寺を託せられるのかどうか、除染との格闘をはじめとして精神的にも肉体的にも疲労を感じている。</li> </ul>
<p>檀信徒の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射能汚染の影響により、避難を強いられている檀家がある。</li> <li>・こうした不安要素を抱えながら、恒規の法会、これに伴う境内清掃等に檀信徒の結束力がより増進したように思う。</li> </ul>
<p>地域の現状</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の除染活動がようやく緒についた。</li> <li>・新たに焼却炉建設の問題が持ち上がった。再汚染を恐れる檀信徒の声が寄せられている。</li> </ul>
<p>復興の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・境内の一部で地盤の沈み込みによる傾斜が発生してしまい、回復工事が必要となった。</li> <li>・本堂側溝は前面のみ改修したが、それ以外の箇所は対応できていない。</li> <li>・7割程度復旧が進んでいる。経済的に難しい面もあるが、3年以内の完了を目指している。</li> </ul>

(H25.9.9現在)